

WS
9

『万葉集』を読む—山上憶良の歌を中心に

オンライン併用

【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円

『歴史・文学・人間学』【ワークショップ】人間学 【時間】毎回 15時00分～17時00分（計12回）

概要 社会の矛盾と対峙し、おのれの老・病・死と向き合う中で、生きることの根源的な意味を探り求めようとした山上憶良の歌を中心に、『万葉集』の歌を読み解き、味わう。

回	月/日(曜)	会場	時間	学習内容	講師名 (敬称略)
1	10/5(木)	川崎市 生涯学習 プラザ 4階401	15～17	『万葉集』とはどんな作品なのか——いまなぜ山上憶良か？	東京大学名誉教授 多田 一臣
2	10/12(木)			山上憶良の前半生の歌——筑前守赴任以前	
3	11/16(木)			大伴旅人との出会い	
4	11/23(木)	3階301		「日本挽歌」	専修大学教授 大浦誠士
5	12/21(木)	川崎市 生涯学習 プラザ 4階401		「惑へる情を反さしむる歌」	
6	1/25(木)	「子等を思ふ歌」			
7	2/9(金)	川崎市 生涯学習 プラザ 3階301	「世間の住まり難きを哀しびたる歌」		
8	2/16(金)		「大伴熊凝の歌」、彼の死を悼んだ憶良の歌		
9	3/1(金)		「貧窮問答歌」		
10	3/8(金)		「沈痾自哀（病になって自らを哀れむ）文」		
11	3/15(金)		「俗道悲嘆の詩」「老身重病…」の歌		
12	3/22(金)		「辞世の歌」、「古日に恋ひたる歌」——憶良の到達点		

連絡事項 *テキストは、毎回プリントを用意します。
第3回から大浦誠士先生にご登壇いただくことになりました。